

平成27年3月31日
京阪電気鉄道株式会社
京都タワー株式会社

京都のランドマーク・京都タワーのリニューアル計画について — 旅の玄関口にふさわしいサービスを充実 —

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪府中央区、社長：加藤好文）では、去る1月29日に骨子を発表した京阪グループ次期中期経営計画「創生果敢」（2015～2017年度）の主軸戦略のひとつとして「観光創造」を掲げ、年間5千万人を超える観光客をお迎えする京都の玄関口である京都駅前エリアの「グローバル拠点化」を最重点プロジェクトと位置づけています。

この方針に基づき、京都タワー株式会社（本社：京都市下京区、社長：小川雅人）が経営する京都タワーでは、今般、リニューアルに着手する運びとなりました。

リニューアルの第1弾として、本年6月に、株式会社JTB西日本と共同で、3階に「関西ツーリストインフォメーションセンター 京都」を開設し、観光情報の提供、外貨両替や荷物預かり等のサービスを開始します。

これに伴い、今後、京都タワーを訪れる観光客が大幅に増加することが予想されるため、一連のリニューアル（詳細は検討中）を通じ、旅の玄関口にふさわしいサービスの充実を図るものです。

将来的には、京都に着いた国内外からのお客さまが真っ先に京都タワーに立ち寄り、最上階の展望室から古都を一望して旅のイメージをふくらませた後、それぞれの目的地へと出発するという京都観光の新たなスタイルが定着するよう、順次リニューアルを進めていきます。

昨年、開業50周年を迎え、新たなステージに立った京都タワーのこれからの変化にご期待ください。



以 上